



学校教育目標『楽しい・美しい・チャレンジ大好き さきはまっ子』

虹

佐喜浜小学校 校長室だより 1月号（第9号）令和7年1月16日発行



あけまして おめでとう ございます

2025年が明け、学校にまた、子どもたちの元気な声が帰ってきました。いよいよ学年の締めくくりの3学期がスタートしました。

本年もよろしく願いいたします

8日の始業式では、「一年の計は元旦にあり」という言葉を紹介しながら、年のはじめに目標をもち、計画を立ててがんばろう…という話をしました。1月は「いぬる」（いく）2月は「にげる」3月は「さる」と言われるように、3学期はあっという間に過ぎていきます。休みを除くと、50日です。6年生は49日です。もう、カウントダウンは始まっています。一人一人に思いっきり3学期を楽しんでもらいたいと思います。また、5年生は6年生から佐喜浜小学校のリーダーを引き継ぐ大事な学期です。1～4年生も6年生との思い出をさらにつくりながらみんなで、賢く、たくましく大きくなって欲しいと思います。

ここで、毎学期はじめに全校で確認している、佐喜浜小学校伝統の「さきはまっ子の当たり前なこと10箇条」を紹介します。

- さきはまっ子の
「あたり前なこと十か条」
- ① さわやかなあいさつをする。
 - ② 名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事をする。
 - ③ 何かしてもらったら「ありがとう」などの感謝の言葉を言う。
 - ④ 間違ったことや悪いことをしたら、すぐに「ごめんなさい」という。
 - ⑤ 人の傷つくことをしない、言わない。
 - ⑥ よく学び、よく遊び、よく眠る。
 - ⑦ いすや履き物をそろえる。
 - ⑧ 時間を守り、仕事をしっかりする。
 - ⑨ 使ったものは必ず元の場所にもどす。
 - ⑩ ゴミが落ちていたら拾う。



どんど焼き

地域の行事『どんど焼き』に今年も参加させていただきました。新年が明けて、初詣や七草がゆ、鏡開き等の行事・慣習は日本ならではのものだなあと感じながら無病息災を願っています。私自身、教職生活30数年ですが、地域のどんど焼きに参加させていただくのは初体験でした。子どもたちも行事として参加できるこの『どんど焼き』、すてきななあと思いながら、今年一年の健康と子どもたちの成長を願いながら楽しく参加させていただきました。おぜんざい、焼き芋とってもおいしかったです。地域のみなさま、ありがとうございました。

冬休み中の研修より

3学期が始まる前日の7日に室戸市の若年教員研修がありました。



講師は映画監督の安藤桃子さんです。安藤さんから刺激をもらおうと若年でない私も聴講してきました。

お話で心に残ったこと、考えたことを少し紹介します。

- ① 大事なことは健康であること「健康第一」
 - ・睡眠・食事・活動（運動）の大切さ
- ② 全員が才能をもっている。それを開く「きっかけ」がどこにあるのか→学校もその「きっかけ」づくりができる場所＝やりがい、責任重大
- ③ 家族の時間を大切に
 - ・桃子さんは娘さんと「毎日 1 分のハグ」
 - ・「手当て」という言葉：漢字に意味がある
- ④ 子どもたちにおすすめの映画
 - ・「風に立つライオン」
 まだ観ていないので、観てみたいと思います。
みなさまも是非！！